1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（　月　日　曜日）

No.

豊かな自然の裏には……

岳南中学校　三年　宇野　里音

みなさんが屋久島を聞いて思い浮かべるものは何だろうか。

ヤクスギや大川の滝、千尋の滝、白谷雲水峡など数々の自然であろう。その中でも、私が一番好きな所を紹介していこうと思う。

まず、「大川の滝」だ。「大川の滝」は、日本の滝百選に記載されている。水が落ちる落差が約八十八メートルもあり、水しぶきが魅力である。その景色は、色鮮やかでとてもダイナミックだ。また、とても涼しいため夏の暑さが厳しい時期に行くととても気持ちがよくなる。

次に、「ヤクスギランド」について紹介する。ヤクスギランドは、山の中にあり夏でも涼しい。園内には、千年杉やくぐり杉や仏陀杉などの屋久島を代表する杉や種類豊富な苔が生息している。また、空気や水もきれいでとても癒しの場所である。

中学校

20×20

5、読みやすいように、、と。とをしっかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「　」のなかに入れましょう。「　」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかり使いわけましょう。
8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

（不許複製）

鹿児島県中学校教育研究会国語部会選定

1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（　月　日　曜日）

No.

中学校

このような自然豊かな屋久島は、特異な生態系と優れた自然景観が評価され一九九三年十二月十一日に日本初の世界自然遺産に登録された。世界自然遺産に登録された後は、世界中から多くの人がこの豊かな自然を見に来ている。しかし、島を外くの人が移動したことによって問題が発生している。

それは、屋久島でも環境破壊が見られているという点だ。今、屋久島の海ではそこら中に全国、全世界からきたプラスチックごみが大量にある。もし、これ以上増加してしまうと、魚が食べてしまいこれからの私たちの食料が減少していってしまうと考えられる。それだけではなく、ヤクスギランドではきれいに整備されているわけではないため、人が木の根を踏んでしまい傷んでしまっていると聞いたことがある。

屋久島では、これからこれらの課題と向き合い改善していく必要があると考えられる。

まず、取り組んでいくべきこととして挙げ

20×20

5、読みやすいように、、と。とをしっかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「　」のなかに入れましょう。「　」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかり使いわけましょう。
8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

（不許複製）

鹿児島県中学校教育研究会国語部会選定

1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（　月　日　曜日）

No.

中学校

られるのは、定期的な海岸清掃や身近な道路に落ちているごみを拾うよう呼びかけをするなど町民だけでなく観光にいらしゃった人たちにも協力してもらうなどして、解決していく必要があると考える。

（不許複製）

20×20

5、読みやすいように、、と。とをしっかりつけましょう。、と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6、人が話したところは、「　」のなかに入れましょう。「　」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかり使いわけましょう。
8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

鹿児島県中学校教育研究会国語部会選定